

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	堺市立もず園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	227	(回答者数) 196
○従業者評価実施期間	令和7年9月24日		～ 令和7年10月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 40
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な専門職種による連携、もず診療所及び相談支援室もずの併設による、こどもと家族への多面的な支援	療育参加・給食介助・バス添乗など日常的に多職種でこどもの支援を行っている。こどもや家族への支援内容は日常的に多職種で情報交換を行い、必要に応じ多職種でのケース検討会議等を行っている。あいすてーしょんや自主事業等を通じ、相談から支援に繋ぐよう努めている。診療所や相談支援室と密に連携し、医療面、関連機関との調整や福祉サービス面等において、通園利用終了後も含め、こどもと家族が安心して過ごせるよう支援している。	地域支援においても、多職種によるチームでの支援ができる体制を整備する。
2	保護者支援・保護者交流への幅広い取り組み	親子保育を丁寧に積み重ね、こどもの状況を保護者と共有している。個人懇談や家庭訪問等に加え、保護者支援プログラムの年間計画を立案し多職種や外部講師による保護者学習会を実施している。クラス懇談・参観等の行事・保護者交流会等を通じて、保護者同士で情報交換や悩みの共有等ができるよう交流の機会を設けている。また、行事等で、きょうだいや家族の方々にも参加していただける機会を設けている。	更なるオンラインによる保護者学習会の充実やICTの活用に取り組み、保護者への情報発信拡充に取り組む。
3	年齢・発達課題・生活環境に応じた療育および保護者の子ども理解の促進	療育の入口にいる親子から地域移行の親子まで、就学前の発達につまづきや課題があるお子さんに関わる堺市の療育システムの大部分を担っている。毎日登園クラス以外に、低年齢の親子クラス、並行通園クラス、療育支援未経験の親子への園庭開放・遊びや相談の場を運営し、年齢や発達段階に応じた療育内容と特性に合わせた個別の支援を行っている。療育・支援内容としては、わかりやすい日課を積み重ね、見通しを持って主体的に活動できることを重視している。また、保護者と子どもの姿や成長・悩みをを共有し助言を行うことで子どもの理解を深めることにつながっている。	法人内外での実習や研修の機会を拡大し、個々の職員の知識・資質の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	丁寧な支援を行うために必要な準備や会議、資料作成等の時間を確保することが難しく、残業につながることも多い。	兼務量の多さや人員確保の難しさ、職員の勤務時間の多様化等が要因となっている。	様々な媒体を活用することで人員確保の状況には改善が得られた。職員の健康管理に気を配るとともに業務の見直しや効率化を図り、残業の削減、有給休暇の取得促進に取り組む。
2	地域住民の方々との交流機会を設けることに難しさがある。	療育支援未経験のこどもと家族の方には遊びの提供や相談の場を設けている。地域のボランティアの受け入れはしている。感染症対策や防犯上安全の問題等もあり、不特定多数の地域住民の方々を行事等に招待することには難しさを感じている。	地域在住の写真撮影ボランティアに行事の際ご協力いただけた。今後も絵本の読み聞かせやこどもたちが使用する教材等の作成などにご協力いただく等こどもたちが好む活動を行っている地域のボランティアの方々に療育に参加して頂く。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	埼玉県立もず園 (毎日通園クラス)				公表日	令和7年10月31日	
					利用児童数	74	
						回収数 66	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると思いますか	58	4	0	0		
	2 職員の人数・配置は適切であると思いますか	50	9	2	1	・とても目が行き届いていて感じた。 ・1人1人サポートがいる子達ばかりなので先生達の数もそのぶん必要と思う。(実際大変そうなので) ・どうしても手のかかる子に職員がつきがち。 ・先生達が走り回ってなんとか配置人数を確保しているように感じる。もっと余裕を持って働いてもらえるよう先生達の労働環境を整えてもらいたい。 ・先生達が少ない、大変だと思う。 ・すぐく手厚くてありがたい。 ・食事の時などはどうか気になりなる。 ・先生方はとてもがんばっていると思う。堺市には、もっと先生方の待遇を良くしてほしいと思う。	・アルバイト保育士・児童指導員を中心に様々な媒体で職員募集を行っている。人材確保が難しい状況が続いているが今後も人材確保に向けて努力する。 ・職員配置は堺市との協議の上で決まっているが、より丁寧な支援や職員の業務量を考慮すると、工夫が必要である。
	3 職員の専門性は十分感じ取ることができていますか	57	4	0	0	・とても良い先生が多いが、子どもに対する感じと保護者への言葉遣ひが異なることがある。 ・社員やパート(短期契約)があったりする。	・子どもや保護者への関わり方、言葉使いなどは、適宜指導・助言を行い職員研修も行っている。専門性を高めるための職員研修にも取り組んでおり、短期契約職員も参加して行っている。
	4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感じますか	61	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	59	3	0	0	・寒い時期は、教室の方向にもよるが、底冷えするので、はだしたと寒くないのかな?と思うことがある。	・園児は、安全のため室内では裸足で過ごしているが、体調など心配がある場合は相談を受け対応する。
	6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	54	6	1	0	・古い物や破損した物も、頑張って補修して使用している。新しい物やきれいな物を準備してほしい。 ・子どもの興味あるおもちゃをもう少し増やしてほしい。 ・ずっと同じおもちゃで遊んでいる感がある。	・玩具が安全に使用できる状況かは、療育終了後に毎日確認を行っている。遊時、玩具の入れ替えを行い園児の発達課題に合わせた玩具の提供に努めている。今後も引き続き、安全性に配慮しながら、新しい玩具の購入や、手作り玩具を取り入れていく。
	7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感じますか	60	1	0	0		
	8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思いますか	59	2	0	0		
	9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感じますか	54	7	0	0		
	10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思いますか	58	3	0	0		
	11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると感じますか	60	0	0	1		
保 護 者 へ	12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感じますか	33	11	10	7	・まだ年少のため機会がない(まだ必要ない)のかと思う。 ・個人ではあるが、もず園からは分らない。 ・園では交流の機会を作ってくれているが、個人的には交流がなくても良い。比べてしまい落ち込んでしまうので。	コロナ禍もあり感染予防のため交流を控えていたがR6年度から再開した。地域の保育園から園児と先生方が来られ、もず園は園児数が多いので年長児との保育交流を行った。次年度以降も、地域園と内容などを検討しながら実施する。
	13 【並行通園の方のみにお聞きします。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感じますか						
	14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	55	6	2	2	・入園前に園に来る内容(親子通園、リハビリ等)をもう少し聞きたかった。	利用開始にあたり重要事項説明を実施しているが、より丁寧な説明を心がけていく。また、今回のご意見も踏まえ、保護者に園に来て頂く頻度、内容等の周知方法を工夫していく。
	15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	63	0	0	1		
	16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感じますか	60	3	0	1	・OBの保護者の体験談を聞ける会があり、とても参考になった。小学部低学年、中学部の話も聞いてみたい。 ・平日仕事か休めないののでどんな内容だったか議事録などで教えて欲しい	家族支援プログラムとして、学習会を行っている。先輩保護者の体験談を聞く学習会は毎年好評で、頂いた意見も参考に今後も実施していきたい。配布資料がある場合は、希望があれば欠席された方にも配布している。
	17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると感じますか	63	0	0	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 説 明 等	18	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感じますか	59	4	0	1	・定期的にあるが、もう少し時間を短くしてほしい。	懇談等の回数は設定しているが、不安や相談などがある場合は随時面談や電話などで対応している。
	19	親の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると感じますか	48	10	2	4	・保護者控室の印刷機が古く、保護者会、さくらの会活動での印刷作業の負担が大きい。 ・支援はされていると思うが、保護者自体が消極的な方が多い気がするので致し方ないかなと思うことがある。	印刷作業の負担を軽減する方法を保護者会・さくらの会と一緒に検討し、ペーパーレス化を進めている。
	20	保護者からの相談や苦情に対するの申し入れについては、迅速かつ適切に対応されていると思いますか	52	3	0	9		
	21	保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる。わかりやすい言葉を使うなど）がなされていると感じますか	58	3	0	3		
	22	保護者に対して定期的なお便りや定時物を通じて活動概要や行事予定をわかりやすく伝えていると感じますか	60	3	0	1		
	23	園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じですか	44	0	13	7	・いつどこでどのような形でされているのですか？	ホームページに自己評価を公表する際は、お便りや配信等で掲載をお知らせする。
非 常 時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分注意していると感じますか	60	3	0	1		
	25	園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周知・徹底されていると感じますか	62	2	0	0		
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57	4	0	3	・保護者に対する災害時の対応の仕方を説明会があれば良いと思います。 ・避難訓練の様子がわからないので知りたい。	日曜参観の保護者学習会にて、防災士を講師に招き『防災について』をテーマに防災グッズの紹介も含め研修を実施した。 毎月避難訓練を実施しているが、毎月の避難訓練の様子をクラス懇談や配信などで保護者にわかりやすく伝えるようにしていく。
満 足 度	27	子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	59	5	0	0	・表情などではわからないが、バスが来たらずっと歩き出し先生に寄っていくのでうれしんだと思う。	
	28	園の活動や取り組みに満足されていますか	60	4	0	0	・兄弟児の参加が少ない。 ・活動、取り組みには満足しているが、やはり延長保育を進めてほしい。 ・もず園での活動でも成長し、家での生活面にも反映されていて満足している。 ・行事ごとによって取り組みされており、親も満足している。先生方の給料を上げてほしい。 ・先生方はすごく工夫してがんばっている。堺市にはこのがんばりを知ってほしい。	もず園は園児数が多く、きょうだいの数も非常に多い状況だが、参加方法や機会の増加は今後も検討していく。 延長保育は事業団として検討を行ったが、15時以降はバス添乗や並行通園の運営があり、日常的な実施は現在の職員体制や勤務時間では難しい。緊急時お迎えが間に合わない場合は対応している。
	29	懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。	64	0	0	0	・参加できる機会が多く、子どもの成長をたくさん見ることができた。 ・親子登園は大変だが、いい機会になっている。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日				回収数	
堺市立もず園（並行通園クラス）	令和7年10月31日				84	
	利用児童数 101					
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると感ずいますか	78	4	0	0	・室内の運動スペースはせまく感じる。	活動内容によっては保育室内の狭さを感ずられることもあったと思う。引き続き、活動内容など安全に配慮しながら取り組んでいく。
2 職員の数・配置は適切であると思ひますか	78	3	0	1		
3 職員の専門性は十分感ず取ることができていますか	76	3	0	3		
4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感ずいますか	81	1	0	0	・視覚的にわかりやすい配慮がある。	
5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	82	0	0	0	・廊下が寒い ・冬場は子どもたちは満足になるので少し寒いかなと感ずした。	園児は安全のため室内では暖房で過ごしているが、体調など心配がある場合は相談を受け対応する。寒暖など、保護者にも確認しながら空調管理を心がける。
6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	79	2	0	1		
7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感ずいますか	76	3	0	3	・はさみや絵本など、良かった。	
8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思ひますか	73	6	0	3		
9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感ずいますか	67	8	0	7	・製作以外にも指先トレーニングなど知育要素があるところによりゆくと感ずる。 ・回数が少ないため、活動が良いかどうかわかりにくい。	製作でのならいを、より丁寧に保護者に説明していく。クラスの状況や園児の発達段階に応じた取り組みを今後工夫していく。
10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思ひますか	67	10	2	3	・この点は特にそう感ずる。製作の説明から始めさせてくれたり、興味をひくシールを準備してくれたり、濃縮らしい。 ・同じことの繰り返し。 ・子どもがあまりにも自由に勝手に動きまわる状態が放任されている。どのように導けばよいかわからない。	継続した取り組みを通じた変化や成長を確認することも大切にしている。園児の状況に合わせた柔軟な対応を今後も心がける。子どもの状況や興味に沿った関わりを大切にしているが、保護者のニーズを丁寧に確認しながら具体的な対応方法を伝えていく。
11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると思ひますか	80	0	1	1	・個別に話を聞いてくれ、アドバイス下さっている。	
12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感ずいますか	32	14	11	24	・週1回の園遊なのでわからない。	地域園との交流は、もず園は園児数が多いため、現時点では毎日通園クラスのみ実施している。
13 【並行通園の方のみにお聞きします。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感ずいますか	59	15	1	6	・申し込みからもず園に通うまで少し時間がかったためもう少しスムーズに進めたい。	
14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	81	0	0	2		
15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	77	4	0	1		
16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感ずいますか	79	3	0	1	・おひさまが毎月にはじまってすぐの前週でも少し保護者交流する機会を増やしてくれるといいなと思ひます。	保護者交流会は保護者支援プログラムの一環として実施している。頂いた意見も踏まえ、実施時期、回数などを検討していく。
17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思ひますか	79	3	1	0		
18 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感ずいますか	79	2	0	2		
19 朝の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると思ひますか	41	17	2	23		
20 保護者からの相談や音信に対しての申し入れについては、迅速かつ適切に対応されていると思ひますか	56	3	0	24	・音信を届けることがない。 ・迅速に対応してほしいような相談や音信はないので、わからないにした。	
21 保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる、わかりやすい言葉を使うなど）がなされていると感ずいますか	77	1	0	5	・情報伝達などの際に配慮してほしいと思っていることがないのでわからないにした。	
22 保護者に対して定期的なお便りや定時物を送じて活動概要や行事予定をわかりやすく伝えていていると感ずいますか	74	4	1	4		
23 園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じですか	31	3	28	20		
24 個人情報の取扱いに十分注意していると思ひますか	79	0	0	4		
25 園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周知・徹底されていると感ずいますか	73	3	1	6	・施設部所が多く、防犯、安全面も安心。 ・防犯対策は良いことがないような気がする。 ・保護者がマスクをすべき。	園で行っている防犯対策について、教室内での掲示や音信での周知など検討し実施する。感染症の流行時や風邪流行時はマスクの着用をお願いしている。
26 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50	6	1	26		園では訓練を月1回実施している。毎日登園クラス以外には避難経路の説明をしている。避難経路などの掲示を検討し実施する。
27 子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	74	9	0	0	・1回目の時から少しずつ緊張に慣れてきたと思ひます。 ・すぐく楽しみにしている。 ・日による。活動のスケジュールによる。 ・完全も楽しく通っている。	
28 園の活動や取り組みに満足されていますか	75	6	1	1	・もう少し知育的なこと（線なぞりやも通し、かんだんルールのあるあそび）など（リレーションがある）といふと感ずう。少し希望がなさを感ずした。 ・時間がもう少し長ければいいと思ひます。	取り組み内容に関しては、クラスの状況や園児の発達段階も考慮しながら、頂いた意見も踏まえ検討していく。
29 懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか	75	1	1	6	・保護者の方でも少し交流会があればいいと思ひます。	保護者交流会は保護者支援プログラムの一環として実施している。頂いたご意見も踏まえ、回数や方法を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	堺市立もず園（週1通園クラス）				公表日	令和7年10月31日	
					利用児童数	52	
					回収数 46		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると思いますか	41	4	1	0	・子ども同士がぶつかってしまうことがあった。 ・運動あそびの時は、ぶつかったりする心配がある。 ・全員が来る日は特に狭く、すぐにぶつかって危ない。 ・子どもが多動のため、もう少し広いとよい。 ・園庭で遊ぶ日が少ない。	活動内容や出席人数によって、使用する部屋を使い分けるなど、安全性に配慮しながら取り組んでいる。
	2 職員の人数・配置は適切であると思いますか	41	3	2	0	・全員が来る日は、3人では少ないと思うことがある。 ・生徒10名（今は8名）に対して先生が3人は少なく感じたことがある。 ・運動の部屋と自由遊びの部屋を分けると、職員が1人しかいない状況となり、親子あそびが中心になる。 ・机などの出し入れの時、面談や移動の時など手薄になる。もう少しほしい。	職員の配置基準は満たしている。保護者のご不安にならないような職員の動きを作っていく。
	3 職員の専門性は十分感じ取ることができていますか	40	5	0	0		
	4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感じますか	41	3	2	0	・子どもの声かけで流れになかったものが増えるなど、一貫していない。1日の流れの共有などもない。スケジュールを提示しているだけになる。 ・通路の扉のロックは再ロックできるようにしてほしい。子どもが度々2重ロックをかけている。	スケジュールの変更を行う際は、園児や保護者丁寧に説明を行う。園児や保護者にとって、わかりやすい療育の提供に努める。 扉の施錠に関しては、対応を検討する。
適切な 支援の 提供	5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	43	2	1	0	・もう少し物にぶつかっても良いよう工夫されていると良い。	頂いた意見を踏まえ、物の配置など安全面に配慮した環境設定を行う。
	6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	40	4	1	1	・色々な種類のおもちゃや遊具があって色んな遊びができるので子どもも大人も楽しい。 ・あきている様子もみられる。 ・低年齢の赤ちゃんのおもちゃがある。あれば遊ぶが、対象年齢に相応しいおもちゃがあるとうれしい。 ・発達段階に応じて、あまりおもちゃが変わっていかない。 ・もう少し外あそびの時間がほしい。 ・年齢、体格差が大きいせいも、運動の部屋の選定が難しいのかと思う。	クラス内での年齢差があるため、クラス編成のあり方について再検討する。 クラスの状況や園児の発達段階に応じて、提供するおもちゃの種類を引き続き工夫していく。
	7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感じますか	41	3	1	0		
	8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思いますか	42	3	1	0	・内容が簡潔すぎる。 ・もう少し具体的なだと保護者も日常に取り込みやすい。	面談の場面で、具体的な家庭での取り組み方法や支援計画に記載しきれていない事項も伝えていく。
	9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感じますか	39	6	1	0	・個別というより、全体に・・・という感じ	集団の中でも個別に支援は行っているが、保護者により丁寧に伝えていく。
	10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思いますか	40	5	1	0	・絵本をこどもにきいたり、おもちゃ（自由あそび）をこどもに合わせてだしてくれる ・目的やねらいが良くわからず、保育との違いがわかりにくい。	目的やねらいがわからない場合など、職員に質問しやすい環境作りを心がける。
	11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると感じますか	46	0	0	0	・先生は非常に良い。子どもも楽しんでる。 ・子どもだけでなく、保護者に対してもたくさん声かけしてくれるので先生とのコミュニケーションがとりやすい。	
保護者 への 説明	12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感じますか	11	9	14	12	・見たことがない。 ・交流はない	地域園との交流は、もず園は園児数が多いため、現時点では毎日通園クラスのみ実施している。
	13 【並行通園の方のみにお聞きます。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感じますか						
	14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	42	1	0	1		
	15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	43	1	0	0		
	16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感じますか	31	9	0	4	・もう少しあると良いと思う。（年2回あるだけ）	配信による研修も行って、保護者への周知を強化する。
	17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	42	2	0	0	・理解しているのかもしれないが共有されているとは感じられない。 ・私は積極的に日常の様子を伝えるが、ものずかかな方は先生とあまり話していない気がする。	保護者の方から頂いた情報や意見などは、担当職員間で共有することを、より一層意識していく
18 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感じますか	40	3	1	0	・職員数が少なく、対応が難しいのかと思う。	定期的な面談以外にも、不安や相談などがある場合は電話などでも対応している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
等	19 親の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると思いますか	14	12	7	11		
	20 保護者からの相談や苦情に対するの申し入れについては、迅速かつ適切に対応されていると思いますか	31	1	1	11		
	21 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる。わかりやすい言葉を使うなど）がなされていると感じますか	40	1	0	3		
	22 保護者に対して定期的なお便りや定時物を通じて活動概要や行事予定をわかりやすく伝えていて感じますか	41	3	0	0	・翌月予定を前月末に連絡してくれないことがある。	年度初めに年間予定で表しており、登園日に次回の予定も伝えている。欠席の場合は電話で確認しているが、もれがないように心がける。
	23 園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じですか	22	1	11	10		
非常時等の対応	24 個人情報の取扱いに十分注意していると感じますか	39	1	0	4		
	25 園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周知・徹底されていると感じますか	35	3	1	5		
	26 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	4	1	15	・実施している日に登園していたが、教室でふつうに過ごしていた。避難経路などの誘導などなかったため、いざという時のイメージができなかった。	園では訓練を月1回実施している。毎日登園クラス以外はクラスによっては避難経路の説明に留まっている。避難経路などの掲示や書面での配布を検討し実施する。実際の訓練参加に関しては、今後検討していく。
満足度	27 子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	41	3	0	0	・すぐ楽しみにしている。 ・駐輪場（もず園）についての時点でよごしている。	
	28 園の活動や取り組みに満足されていますか	39	4	1	0	・先生方にとっても感謝している。 ・外あそびがもっとたくさんできればうれしい。夏は水あそび、プールなど。 ・地域の療育としては、クオリティが低いと思う。継続的な支援をする気はないのだと感じる。	プールに関しては、プール前検診が必要であり、プールの設置場所などの問題から実施は難しい。もず園はクラス数が多いため、園庭の利用回数を増やすことは現時点では難しい。
	29 懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。	32	4	0	8	・親子登園なので毎回参加している。 ・心の余裕がない時は母子分離保育してほしい。	親子登園を基本にしている。不安や心配がある保護者が、職員に相談しやすい環境作りを心がける。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	堺市立もず園		公表日	令和7年10月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	38	2	集団特性や活動内容によって保育室・集会室・遊戯室等の各部屋や廊下等のスペースを活用している。保育室内は、生活・遊び・休息など多様な使用ができる空間作りを工夫している。	体調管理や休息、障害特性等への個別配慮が必要な子どもが多く、個室を活用している。面談等で個室利用が重なると調整に苦慮する時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	20	保育士・児童指導員を指定基準以上に配置し、社会福祉士・各種セラピスト・看護師・管理栄養士等、専門資格を有する職員を複数配置している。医療的ケア等の配慮が必要な子どもにはマンツーマン対応できるよう体制を調整している。職員体制が厳しい場合は各部署からの支援を調整している。	様々な媒体で募集をかけて欠員補充に努めているが難しい職種がある。兼務職員も多く、各部門からの支援等体制調整が日常的に必要である。職員配置は堺市との協議の上で決まっているが、より丁寧な支援や職員の業務量を考慮し可能な工夫を模索している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	39	1	保育室など各部屋の床材は肢体不自由児はセラピーマット、知的障害児はフローリングなど障害特性に応じて配慮している。必要に応じてパーテーションがある保育室の使用やロッカーの配置で保育室内の構造化を図る等、わかりやすく安全な環境に配慮している。写真・イラスト・文字など視覚支援ツールを活用し見通しや活動の理解を促している。こどもが自分の机・椅子・ロッカー・靴箱等がわかりやすいよう、こどもごとにマークを決めている。バリアフリーへの対応、障害を持つ保護者や外国籍の保護者への対応も丁寧に行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	37	3	集団の障害特性・年齢・発達課題等に配慮した空間づくりを行っている。日々、清掃や消毒等の感染症対策に努めている。随時、安全点検を実施し修繕を行っている。集団特性によって保育室等の各部屋や廊下等のスペースでこどもが怪我をする可能性がある場所は緩衝材等を使用し安全対策に努めている。こども用トイレに空調がない為、サーキュレーター等を使用し対応している。	こども用トイレに空調設備がなく温度調整の難しさがある点に関しては、業者と相談しながら可能な対応を検討する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	40	0	集団では食事が進まない、気持ち落ち着かせる必要がある、体調管理や休息が必要等、個々のこどもの状況に応じて、個室やカームダウンルーム等を使用している。こどもたちの状況や好む活動によって、複数の部屋や廊下、中庭等を利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	38	2	業務目標の設定及び人事評価を実施している。ヒヤリハットや事故報告、苦情・要望報告等は共有し、迅速に対応するとともに、必要に応じて課題に対する研修も行っている。業務に関する事項は、各種会議で検討や意見の聴取の場がある。	職員数が多く全員の参画には課題があり、取り組み方法に工夫が必要である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40	0	無記名での利用者アンケートを実施し、集計結果を法人のホームページ等で公表している。また、面談や電話等で話しにくい場合に利用できるようホームページ上、センター内にご意見箱を設置している。毎年、保護者会と懇談会を実施し、意見・要望を直接伺っている。意見・要望・検討事項は主任会議・職員会議・各職種会議等で共有・検討し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40	0	人事評価の面談で上司に相談や意見等を伝える機会を設けている。職員会議、各職種会議、職員アンケート等でも意見等の把握を行っている。ハラスメント・産業医面談等、各種相談窓口を設けている。出された相談や意見等は、内容によっては主任会議・施設部会議・園長所長会等で共有や対応の検討を図り業務改善につなげている。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40	0	定期的に第三者評価を受審し、評価結果を事業団ホームページ等で公表している。また、評価結果や課題に対する対応を職員に周知し、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	40	0	園内に研修部が設置されており、基本的な年間研修計画を立案・把握・管理している。外部講師を招いての事例検討会や専門的講義、多職種による園内研修を実施している。動画視聴による研修も実施しており、各職員の業務の状況や勤務時間に合わせて視聴できるよう工夫している。外部研修の参加も業務調整を行いながら実施し、知識や資質の向上の機会を確保している。各種研修案内を掲示・回覧し、自主的な研修参加も推奨している。	業務量の調整を行いながら、研修を受ける機会や研修内容の充実を図る。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	40	0	保育・リハビリにおいて個別支援計画を作成し個人懇談にて保護者と内容確認や見直しを行っている。業務標準マニュアルを事業団ホームページにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	40	0	適切なアセスメント・モニタリングを実施しており、個々の子どもと保護者のニーズに沿った支援計画を作成している。日々の保護者とのやりとりや事前アンケート、懇談等を通じて保護者のニーズを丁寧に聞き取り、計画作成に向けたアセスメント会議を実施している。診断や発達相談の結果等も踏まえ、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	38	2	モニタリングから支援計画作成会議において、各子どもの支援に関わる職員が情報共有や支援内容の検討を行っている。児童発達支援管理責任者とクラス集団に関わる職員間で、情報共有や会議等の時間の確保が難しいが、日々の職員体制やバス添乗業務を調整しながら実施している。	兼務職員の多さや業務量増加の中で、会議等の時間や多職種での検討が制限されるため、効率化等の工夫が必要である。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	38	2	クラス会議で、支援計画の共有と支援内容の確認を行っている。個別のケースファイルにて管理しており、子どもに関わる職員が確認できるようにしている。	短時間勤務の短期契約職員や担任を持たないフリーの保育士等との情報共有に工夫が必要である。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	39	1	毎日登園クラスでは年1回、その他のクラスは必要に応じて発達相談を行っている。発達相談では、標準化されたツールとして新版K式発達検査2020を使用し、発達相談の情報を関係職員で共有している。担任を中心に子どもに関わる多職種で日々の観察を行い情報共有や必要な対応を検討している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	40	0	支援計画に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	40	0	必要に応じてセラピストなど多職種とも連携しながら担任や担当者間で検討し、保育者会議（月案会議）でクラス間の意見交換もを行い、月ごとの活動プログラムを立案している。1学期末・年度末に多職種も参加しながら内容の振り返りを行い、今後の保育内容や配慮点などをチームで検討している。	南北こどもリハビリテーションセンター合同会議を通して、プログラムの一層の充実を図る。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	40	0	運動や手指活動など、積み重ねを大切に組み込む活動もあるが、子どもたちの状況に合わせて工夫を行っている。月案会議・学期のまとめ・年間のまとめ等での討議や多職種の意見を参考にしながら、活動内容の充実を図っている。		
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	40	0	集団療育を基本にししながら個々の子どもの状況に合わせた支援を実施している。集団活動における課題と取り組みと個別活動における課題と取り組みの視点を持ち、子どもの状況に応じた支援計画を作成している。活動内容によっては、個別の空間・環境を工夫したり、小人数で取り組むなど集団の大きさを工夫している。必要に応じ、併設の診療所にて各種の個別セラピーが実施されている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	40	0	支援開始前の打ち合わせは必ず実施し、関わる職員間で統一した認識のもとでのケース対応や連携した支援が出来るようにしている。登園バスの添乗など他の業務で参加できない職員もいるが、連絡ボードや口頭で要点を伝えることができるよう工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	39	1	降園バスの添乗や短時間勤務の職員、兼務の職員も多く、全員での実施は難しい場合が多いが、参加できる職員で短時間でも振り返りやこどもの状況の共有を行っている。当日もしくは翌日から対応が必要な事項に関しては当日に共有・対応を行っている。それ以外の事項については、定期会議等で共有することもある。	日々の業務量や兼務の為、振り返りの時間の確保や時間調整が難しい場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	40	0	家庭連絡票に園での様子を記載し保護者と書面での情報共有を行っている。クラスごとの保育日誌、個人ケース記録への記載を通じて振り返りを行うとともに、支援の検証・改善につなげている。記録は簡潔であっても、担任間や関係者間での口頭でのやりとり等も併せて行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	40	0	定期的にモニタリングを行い、6か月に1度、支援計画の見直しを行っている。また、こどもや家庭状況の変化に応じて適時見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	40	0	依頼があった場合は、会議内容によって担任・児童発達支援管理責任者・リハビリ担当者等の適切な職員が参画し、支援方法や各種情報の共有を行っている。併設している相談支援室もずらずをはじめ他の事業所とも連携を図ることが出来ている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40	0	保健センター等の関係機関と常に連携を行っている。保育所等訪問支援事業・障害児等療育支援事業・相談支援事業等を通じて、地域との連携を図っている。併設の診療所を通じて、医療機関との連携を行っている。在籍園等からのリハビリ等の見学も受け入れている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	39	1	並行通園クラスを運営しており、週1日親子登園クラスでも地域のこども園等に在籍するこどもを受け入れている。並行通園のおひさまクラスでは在籍園訪問を実施しており、その他のクラスの並行利用児は保護者の同意のもと必要に応じて情報提供を行っている。移行に向けての相談援助を実施し、引継ぎ資料の作成・引継ぎ会議の実施等を行っている。退園後は必要に応じ保育所等訪問支援や診療所による診察・リハビリ等で支援している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40	0	学校見学や体験を職員が同行するなど支援している。また、教員等の見学を受け入れ、こどもの状況や支援内容の理解や共有を図っている。引継ぎ資料として、保護者の同意のもと個別支援計画を就学先に提供している。支援学校との引継ぎは、クラス担任と学校担任と対面で実施している。地域小学校との引継ぎは、保護者と学校との間で確認の上、希望があれば実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	40	0	各事業所や関係機関対象に、施設見学会や施設支援、出前講座等の研修を実施している。児童発達支援事業所向けの交流会を実施し、スタッフ間の交流や専門スタッフからの研修を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	39	1	専門機関から講師を招き、療育内容等に関しスーパーバイズを受けている。職員は、各種学会・研修会・公的機関が主催する研修等、計画的に外部研修に参加している。各種研修案内を職員室内に掲示したり、該当チームに回覧して周知している。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	37	3	各区の障害児支援関係機関連絡会や自立支援協議会・相談支援部会に参加し関係機関と情報を交流している。		
	(31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	36	4	コロナ禍以降、中断していた近隣のこども園と交流保育を年に3回程度、開催できた。こどもたちも一緒に三輪車に乗ったりダンスをまねっこしたり、お名前呼びでハイタッチしたりとふれあう姿が見られた。垣根なく関わりあうこどもたちの様子が双方の園の職員も交流保育の価値を再確認できた。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	40	0	家庭連絡票を通じて、日々の支援内容やこどもの状況を保護者と伝え合っている。送迎時や電話等でも保護者と話す機会を作っている。親子登園時やリハビリ現場で、こどもの発達状況や課題、保護者のニーズ等について共通理解を持てるよう取り組んでいる。必要に応じて面談や家庭訪問を実施している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40	0	各クラスの集団特性も考慮しながら、家族支援プログラムの年間計画を作成し保護者に知らせている。外部からの保護者向け研修案内は園内に配架し、内容によっては該当クラスに配布している。内部の専門職種等による学習会や、外部講師による研修を開催し、一部はオンラインでも実施している。	オンライン学習会の充実を図る。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	40	0	新入園児に対しては、利用契約に関する説明会で重要事項説明書に基づき丁寧に説明を行っている。継続児に関しては、継続年度当初にあらためて説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	40	0	支援計画の作成前に、アンケートにて保護者から保護者とこどものニーズや悩み等を聞き取っている。療育の中でこども自身の願いや思い・要求を丁寧に受け止め計画案に反映し、内容を保護者と確認し必要に応じて修正を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	40	0	児童発達支援管理責任者が支援内容を保護者に説明・確認を行い、同意を得ている。その後、個人懇談にて担当がより丁寧に説明・確認を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	40	0	定期的に個人懇談を実施している。併設の診療所での診察場面やリハビリ現場での対応も行っている。医療・健康・食事面、生活・発達面、進路や福祉サービス利用等、必要に応じて適切な職種が面談や助言・支援を行っている。	
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	37	3	保護者会活動の支援を行っている。参観日やクラス懇談会等で保護者交流の機会を設けている。卒退園されたこどもの保護者を交えた学習会を実施しており、先輩保護者と交流する機会となっている。運動会やお楽しみ会等、家族参加の園行事にきょうだいも参加しており、自然な交流が見られている。	保護者交流、きょうだい同士での交流の拡充を今後も継続して検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	40	0	クラス担任、担当の児童発達支援管理責任者、専門職種主任、苦情解決責任者・苦情受付担当者等の多様な相談窓口を周知している。内容によっては関連職種でカンファレンスを行い、迅速かつ適切な対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40	0	毎月のクラスだよりや園だよりに加え、年2回の事業団だよりを発行している。事業団ホームページやフェイスブックにて、給食の写真や行事の様子等を発信している。ICTも使用し、保育内容等を発信している。	事業団として発信内容やツールを整備しているが、より一層の活用を検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	40	0	職員研修にて個人情報保護の重要性を周知している。個人情報保護に関する報道やセンター内でのヒヤリハット報告を朝礼や会議等で共有し、注意喚起を行っている。ケースファイル等は施錠できる保管庫で管理し、個人情報を含む書類等の郵送や配布の際は間違いがないようダブルチェックの実施を徹底している。関係機関等への個人情報の提供、事業団ホームページやフェイスブック等での園児の写真掲載等、保護者との間で文書にて同意を得ている。	

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	40	0	写真・イラスト・文字・身振り等の視覚的手段を活用している。書き言葉や話し言葉は、わかりやすい表現や言葉を使用している。必要に応じて、個別に丁寧な説明を行っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38	2	子どもの発達が気になっている地域の親子が参加できる園庭開放、土曜日に開催する土曜日クラブ・にじいろクラブを実施している。感染症対策等の理由により、行事等に地域住民を招待することは出来ていないが、地域のボランティアを受け入れる体制は整えている。地域在住の写真撮影ボランティアに行事の際ご協力いただけた。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	40	0	各種マニュアルを策定しており、随時見直しも行っている。緊急時対応の訓練も実施しながら知識や緊急時の対応方法を職員に周知している。必要な場所に必要マニュアル(フローチャート)を掲示している。保護者には重要事項説明の中で策定については知らせており、一部マニュアルについては事業団ホームページにて公開している。FBで訓練の様子も発信している
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	40	0	事業継続計画を策定している。感染症対策については、定期的にマニュアルの確認を実施している。非常災害については、毎月の消火避難訓練に加え、地震避難訓練も実施している。消防署立ち会いの下で119番通報も含む消火避難訓練を実施しており、助言指導を受けている。災害時の安否確認ツールとして職員・保護者に災害用伝言版(Web171)及び災害用伝言ダイヤル(171)の利用方法を周知しており、職員・保護者が実際に体験できる機会を年に1回設けている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	40	0	併設の診療所による入園前検診で、子どもの状況について確認・把握している。診療所を通じて主治医との連携、情報共有が行われている。発作等の緊急時対応も含め、関わる職員全体で共有している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40	0	主治医の指示書に基づき除去食を提供している。管理栄養士が個別の献立表を作成し、保護者と除去食の内容を確認し了承を得ている。配膳間違いや誤食がないように食器・食札の色を変えており、複数の職員で確認を行い事故防止に努めている。必要な情報は、関わる職員全体で共有している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	40	0	安全計画を作成し周知している。重大事故防止対策・災害対策・感染症対策・不審者対策等、安全管理に必要な研修や訓練を実施している。園外保育やプール等の行事の際は、注意点や緊急時の対応等の確認を会議で行い関わる職員に周知している。日々の安全点検に加え、毎月の安全点検を実施し危険な場所等があれば修繕や撤去等の対策を速やかに行っている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40	0	安全点検や訓練の実施について重要事項説明書で説明している。「入園のしおり」で周知するとともに事業団ホームページから閲覧できるようにもしている。緊急時の保護者への連絡手段として、メール連絡を整備しており緊急時に使用している。R6年度からは、ICT(コドモン)を導入し活用している。災害用伝言ダイヤル(171)及びWeb171の利用体験の機会を設けている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	40	0	ヒヤリハットや怪我・事故発生は、毎朝の全体ミーティングで速やかに口頭報告し、原因や対策を共有している。口頭報告に加え報告書を作成し全職員で閲覧し情報共有を図っている。毎月の集計や分析を行い、関連する職種間でタイムリーな確認と共有を行うことで再発防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	40	0	虐待防止委員会を設置しており、必要な情報の共有を行っている。園長による職員研修等を実施している。

	53	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p>	40	0	<p>虐待防止委員会で身体拘束適正化に向けた対応確認を行っている。やむを得ない身体拘束については、保護者に事前に説明を行い了承を得た上で児童発達支援計画への記載や同意書を得ている。</p>	
--	----	---	----	---	--	--